

活動事例

産業界支援

支援先

県内中小企業等

次世代技術活用ビジネスイノベーション
創出事業
(地方創生推進交付金事業)

【内 容】

IoT・AI の知識やビジネス創出ノウハウ等の理解促進を図るとともに、グループ協議などを通して、新たなビジネス創出を目指し、各講座等を運営しています。最初にビジネスモデルの重要性を理解いただくことなどの機運醸成を目的としたセミナーを開催しました。次に、ビジネスモデル等の作成にチャレンジいただく環境作りとして、IoT・AI 人材育成講座やビジネスモデル構築研修を実施しました。また、ビジネスモデルづくりのための仕組み作りやネタ探しの場として、研究会やコワーキングスペースを運営するなど、一気通貫の支援を行います。

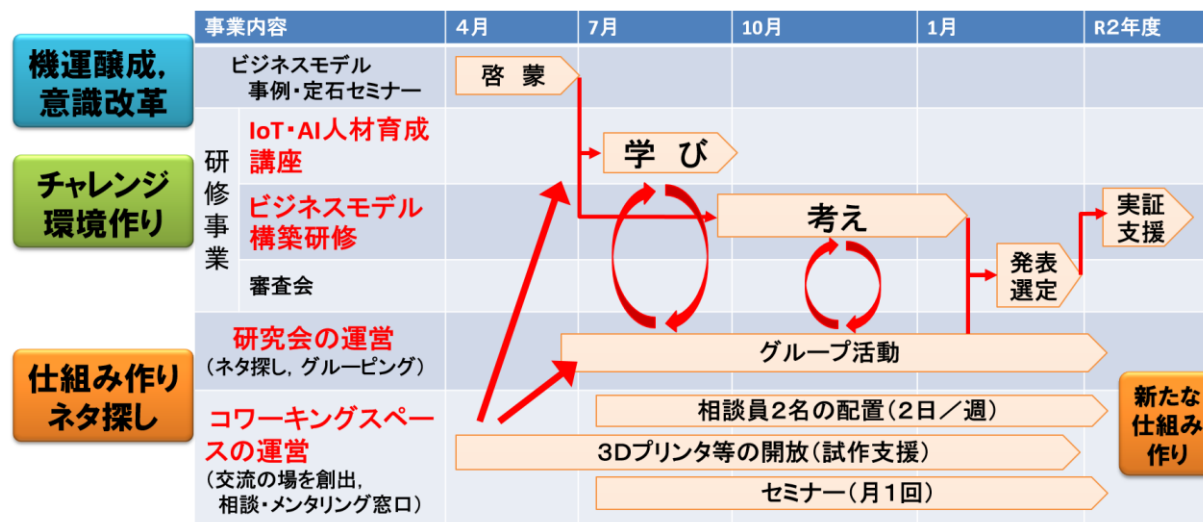


図1 事業の全体像と年間スケジュール

1. IoT・AI 等活用人材育成講座

①経営者向け(7/26) 参加者 21 社 24 名

デジタル技術の進展を理解し、デジタルデータを用いた新たなビジネスを構想するためのプロセスを習得するワークショップを行いました(図2)。

②企画者向け(8/5-6, 8/9, 9/6) 参加者 13 社 16 名

IoT・AI 等を活用した自社ビジネス変革、創出を企画する手法を習得するワークショップを行いました。

③エンジニア向け(8/7-8, 8/20-21, 8/27-28, 9/3, 9/6)

参加者 16 社 19 名

小型コンピュータ Raspberry Pi と各種センサを用いた、IoT・AI 等を活用したプロトタイプ開発の手法を習得するワークショップを行いました。



図2 経営者向け講座の様子

2. ビジネスモデル構築研修 参加者 23 社 26 名

(9/25-26, 10/24, 11/28, 12/19, 1/23)

経験豊富な7名のメンターとともに、自社の新しいビジネスモデルを検討し、ビジネスプランにまとめ上げ、最後にそのプランを発表してもらい、審査会による評価を行います(図3)。令和元年度は、20件以上のビジネスプランが発案され、評価される予定です。

・1グループ3~4名の7グループで研修中

・研修日以外も、slack等で随時相談可能

・研修前には事業説明会(7/17, 参加者 22 名)及び相談会(9/10, 参加者 3 名)を実施



図3 ビジネスモデル構築研修の様子

3. AI・ビジネスモデル研究会

ニーズや課題を抱える地域や企業等のサービス事業者と、IoT・AI等の技術を保有するIT事業者でグループを形成し、ビジネスモデルの視点で解決策を検討しました。現在、3グループ1分科会が活動しています。キックオフセミナー（8/5 第1回／参加者 56名）では、IT・IoTによる高効率化、高付加価値化への転換の必要性や事例などを紹介しました。

＜グループ・分科会活動＞

①小売店の接客サービス向上グループ（4社）

顔認識システムを用いて、来店したお客様に対して適切な接客を行い、サービス力向上を図るための検討を行っています。

②自社製品におけるお客様へのサービス提供グループ（9社）

納品後の自社製品の故障予知と故障時の早期復旧を可能とする遠隔監視機能を追加するなど、付加価値の高いサービス提供を目指しています。

③地域・商店街活性化グループ（5社・1商店街）

イベントの効果分析や次回開催に向けた計画立案を目的に、イベントのチケットを電子化し、参加者の行動分析等を行うことを検討しています。（図4）

④IoT・ロボット活用分科会

IoTやロボット活用技術の修得と新ビジネス創出を目的として勉強会等を開催します。

- ・キックオフセミナー（8/5）
- ・IoTツール活用勉強会開催
第1回（10/3）18名、第2回（11/14）13名、
第3回（12/12）17名
- ・アイデア創出ワークショップ開催（10/25）7名（図5）

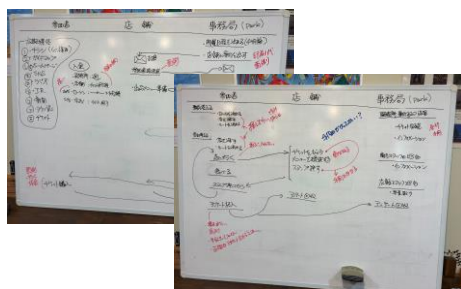


図4 地域・商店街活性化グループのグループ討議の様子



図5 アイデア創出ワークショップの様子



図6 コワーキングスペースの様子

4. コワーキングスペースの運営

会員（企業、大学など）間の交流を進めるとともに、IoT・AI等を活用したビジネスモデル構築やビジネスプランづくりの相談窓口を設けています。

- ・会員 93名（令和元年末時点）
- ・相談員 2名駐在（2日／週）
- ・プロトタイプ作成支援 1名（4日／週）

①セミナー開催

第1回（7/10）15名、第2回（9/10）15名、
第3回（9/17）12名、第4回（10/23）18名、
第5回（11/26）29名、第6回（12/16）19名、
出張セミナー（古河8/29）16名、（日立9/4）24名

②情報発信

- ・ホームページ開設：<http://www.itic.pref.ibaraki.jp/business/index.html>
- ・Facebook 開始：Itic 茨城コワーキングスペース（@ITIC.CS）

基礎となった事業		令和元年度 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業			
現在の担当グループ	新ビジネス支援G	グループ長	大城 靖彦	TEL:029-283-7495	
		主任研究員	石川 章弘		
		主 任	石川 卓		
		技 師	引田 俊介		
		嘱 託	柏 清隆		
	IT・マテリアルG	グループ長	若生 進一	TEL:029-293-8575	
		技 師	河原 航		
		嘱 託	田畑 彰文		
		嘱 託	野上 卓也		